

令和4年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

専修学校クラーク高等学院名古屋校

1 はじめに

学校自己評価を行う上で、生徒や保護者を対象とする評価を通じて、学校運営や教育内容等に対して生徒・保護者がどのような意見や要望を持っているかを把握し、今後の取組や自己評価に活用することが重要である。

このため、本校では、在籍する全生徒及び保護者を対象に、本校の教育に対する満足度を調査するための「意識調査アンケート」を Web アンケートツール「Forms」により実施している。

なお、アンケートの実施に当たっては、匿名性の担保に配慮する観点から無記名方式としている。

2 調査及び集計結果

生徒及び保護者に対し、以下の(1)～(15)の項目について、【1：とても満足している 2：やや満足している 3：あまり満足していない 4：全く満足していない】の四者択一方式で満足度調査を実施した。

令和4年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

項目	生徒	保護者
1 学力とペースにあった学習体制	71%	73%
2 専門的な学習（コース・専攻）	74%	74%
3 英検対策の充実	69%	70%
4 資格・検定の取得	73%	73%
5 キャリア学習・探究学習の充実	65%	70%
6 学校行事・イベント	72%	74%
7 学校内での諸活動（委員会、部活動）	70%	68%
8 学校外での諸活動（地域連携、企業連携）	61%	66%
9 全国で取り組むクラーク国際の諸活動	63%	65%
10 海外語学研修制度	63%	62%
11 進路指導	74%	72%
12 進学対策授業・学習	71%	65%
13 やりたいこととの両立	71%	72%
14 友人や仲間との関わり	79%	78%
15 先生に安心して相談できる	74%	82%
16 学校や先生からのサポート体制	75%	78%

3 考察

(1) 生徒意識調査アンケート

- ・教育課程を改訂し、総合進学コース内の専攻を4種類に増やしたことにより、「2 専門的な学習（コース・専攻）」については向上が見られた。
- ・「11 進路指導」、「12 進学対策授業・学習」については、進路指導が本格化する3年生は高い満足度であるが、下級生になるに従って低下が見られる。
- ・「14 友人や仲間との関わり」「15 先生に安心して相談できる」「16 学校や先生からのサポート体制」が高い満足度であり、生徒が安心して学校生活を送ることが出来る環境が一定程度提供出来ていると考えられる。
- ・「8 学校外での諸活動（地域連携、企業連携）」があまり高くないことから、学外での様々な体験的な活動を積極的に取り入れていきたい。

(2) 保護者意識調査アンケート

- ・生徒と比較し、総合的な学校満足度が高い傾向にあり、特に「15 先生に安心して相談できる」「16 学校や先生からのサポート体制」については高評価である。
- ・担任満足度、入学して良かったと感じている保護者の割合も生徒と比較すると高い水準にあり、当校の特長である「安心して学校に通うことが出来ること」と「高い卒業率に加え、高等学校卒業資格が取得可能であること」が一定の評価を得ていると考えられる。
- ・生徒とのギャップが大きい項目については、学校からの情報発信をより密に、効果的に行うことで解消できる部分も多いと思われるため、具体的なアクションが必要である。